

### ○篠山地区と福住地区における町並みの保存と活用 **拡充**

重要伝統的建造物群保存地区の環境整備と歴史的風致の向上を地区住民と連携して取り組みます。



伝建保存修理事業現地指導  
(篠山伝建地区)



市民ミュージカル第10弾  
「クリスマスキャロル」

## 4-4 文化・芸術の振興

### ○交響ホール主催事業の実施 **継続**

文化芸術の鑑賞や発表の場、市民みんなが「感動」できる拠点として、市民のニーズに沿った魅力ある優れた公演を実施します。隔年開催の市民ミュージカルでは、不朽の名作「ノートル=ダム・ド・パリ」の公演成功に向けて取り組みます。また、チケット決済のキャッシュレス化やペーパーレス化への対応を進め、利用者の利便性向上を図ります。

## 施策の基本方向5 郷土を愛し誇りに思う人材育成の推進

### 5-1 ふるさと丹波篠山を愛する心の育成

#### ○郷土を知る取り組み **継続**

地域素材を生かした「ふるさと教育年間計画」に基づき、地域の人々との触れ合いを通して、児童生徒が伝統、文化、自然、産業、食文化などを学び、ふるさとへの誇りと愛着心を育む「ふるさと教育」を推進します。



電動ろくろで丹波焼づくり

### 5-2 学校給食の充実と食育の推進

#### ○農都のめぐみ米・地元食材を活用した学校給食の充実 **拡充**

学校給食の米飯に、丹波篠山産コシヒカリの中でも生き物や自然環境にやさしい栽培方法で作られた「農都のめぐみ米」を100%使用します。また、地元野菜の安定的な使用および地元食材の活用率向上に取り組むとともに、有機栽培野菜もできるだけ取り入れます。物価高騰により、現行給食費では不足する経費については、保護者負担を増やさず公費で負担し、学校給食の質を維持して提供します。また、7月および2学期分の給食費を無償化し、子育て支援を図ります。



黒豆を活用した新メニュー  
(黒豆きなこの揚げパン)



給食甲子園入賞献立を  
活用した食育授業

#### ○食育推進活動の充実 **継続**

子どもたちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけることができるように学校園での食育授業のほか、学校園で開催される給食試食会や栄養教諭による食に関する指導、調理体験などを通し、学校・家庭・地域への食に対する理解を深めます。



丹波篠山の教育の  
詳細はこちらから



概要版

「第45回全国伝統的建造物群保存地区協議会総会・研修会 丹波篠山市大会」を盛り上げてくれた地元の子どもたち

### 教育理念

# 「一人一人が光り輝き、生きがいをめざす」

～子どもが自ら学び、地域とともにある学校づくり～  
～学びの機会を充実し、生き生きと活躍できるまちづくり～

丹波篠山市教育委員会

令和5年度 丹波篠山の教育 (概要版)

発行 丹波篠山市教育委員会 (兵庫県丹波篠山市北新町 41)  
問い合わせ 丹波篠山市教育委員会 学校教育部 教育総務課 (TEL 079-552-5709)

## はじめに

変化の激しい予測の困難な時代に主体的に人生を切り開き、人生で出会うさまざまな問題に積極的に立ち向かい、よりよい解決を図って人生を生き抜いていく力を育成するとともに、人生100年時代を心豊かに多様な人々と協働しながら、しあわせ多き人生を送るための環境づくりや施策展開を図ります。

丹波篠山市では、「丹波篠山きらめき教育プラン」(丹波篠山市教育振興基本計画)の基本理念『一人ひとりが光り輝き、生きがいをめざす』に基づき、『自らの夢や志を持ち、自ら学び考えて行動し、明日の丹波篠山や世界を担う人材』の育成に向けて取り組んでいます。

学校園教育においては、「令和の日本型学校教育」を先取りして、ICT環境の活用や少人数によるきめ細かな指導体制の整備による「個別最適な学び」と、探究的な学習や体験活動を通じた「協働的な学び」を一体的に充実させ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に取り組んできました。これに本市の特性を生かした保育・教育を加えた「令和の丹波篠山型学校教育」をさらに充実・発展させ、市内外への発信に努めます。

また、学校園教育に加えて、幼児教育や社会教育、芸術・文化・スポーツなどあらゆる分野において、心身ともに健康で社会的にも良好な多面的幸福が持続する状態「ウェルビーイング(Well-being)」の実現を目標としています。基本的な生活習慣づくり「眠育、食育、遊び」、ICTの有効活用、自分らしく生きるキャリアプラン、インクルーシブ教育、コミュニティスクール、ふるさと教育、スポーツ・文化・芸術の振興、文化財の保全活用などの施策を展開するとともに、個人のウェルビーイング(幸福)と社会のウェルビーイング(幸福)が相互に循環して互いに高め合う「助け合い・つながり合う」共生社会の実現をめざします。

子どもから大人まですべての市民の命を一番に考え、学びの機会を充実し、生き生きと暮らせるまちづくりに努めてまいりますので、市民の皆さまのご理解、ご支援をよろしくお願いします。

丹波篠山市教育長 丹後 政俊

## 施策の基本方向1 子どもの根っこを育てる乳幼児教育の推進

### 1-1 “子育ていちばん”に向けて

#### ○就学前の保育環境の整備 拡充

待機児童対策の一環として、にしき保育園に保育室1室を増築するとともに、遠距離通所に係る補助を行います。また保育士人材などを確保するため、保育現場で働きたい人を対象に「保育・教育就職フェア」および「園見学バスツアー」を実施するとともに、市内保育施設の保育士資格などを有していない保育従事者に対し、資格取得に係る通信教育講座の受講料などについて10万円を上限に助成します。

老朽化が進んでいる今田保育園・今田幼稚園を統合、令和6年4月開園をめざし、新たに「(仮称)今田子ども園」の新築整備を行うとともに、城東保育園・かやのみ幼稚園の安全・安心な保育環境の整備について検討します。また、保育園、幼稚園、預かり保育施設の照明をLED化します。



(仮称)今田子ども園完成予想図

### 1-2 子どもの根っこを育てる環境づくり

#### ○食育の推進 拡充

人生における食習慣の基礎を決定づける大切な時期に、年間指導計画に基づき保護者と連携しながら食育を行います。コロナ禍などの社会情勢に伴う物価高騰により、現行給食費では不足する経費については、保護者負担を増やさず公費で負担し、園給食の質を維持して提供します。また、物価高騰下におけるさらなる生活支援として、保育園・こども園(私立含む)の3歳から5歳児までの給食費(5カ月分)を一部無償化します。

## 1-4 子ども・子育て支援の体制づくり

#### ○放課後児童健全育成事業の充実 継続

保護者の就労等により小学校の授業終了後に家庭で保育を受けることができない児童に対し、安心できる生活の場を提供し、仲間づくりや生活指導を行うことにより児童の健全な育成を図ります。

#### ○幼稚園預かり保育の充実 継続

幼稚園教育課程に係る教育時間終了後などに、保護者の就労等により家庭で保育を受けることができない園児を対象に預かり保育を行います。

#### ○ファミリーサポートセンターの運営支援 拡充

地域において、育児の援助を行いたい者と援助を受けたい者を会員として組織化し、仕事や急な用事などで子どもの世話ができないとき、一時的・臨時的に子育てを応援する活動を支援します。また、一時預かり事業が定期開催できる拠点をつくり、さらなる子育て支援につなげるよう支援します。

#### ○子育ていちばんPR 継続

子どもや子育て世帯に優しいまちづくりを推進する施策を市民に知っていただけるよう、子育て施策やイベントなどの啓発活動を積極的に行います。市の子育て施策をまとめた冊子を作成し、子育て世帯などに配布します。



自由遊び(児童クラブ)



## 施策の基本方向2

## 生きる力を培い創造性を伸ばす教育の推進

### 2-1 確かな学力の確立

#### ○学力向上プロジェクト事業 継続

学校教員を核とした「学力向上プロジェクトチーム」を設置して、「丹波篠山市学力・生活習慣状況調査」と「全国学力・学習状況調査」の結果分析を生かし、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業の改善方を研究します。

#### ○読書活動の充実 継続

市の学校図書館支援員をローテーションで各校に派遣し、「図書だより」を発行してお勧めの本を紹介したり、学校図書館の掲示を工夫したりするなど、読書活動の充実と活用しやすい学校図書館の環境整備を行います。また、中央図書館との連携を深めつつ、読書意欲を高め、活用しやすい学校図書館、読書活動の充実を図ります。読書に親しむことや、自分の思いや考えを文章にまとめる活動などを通して、児童生徒の言語能力の向上を図ります。

#### ○情報活用能力の育成 拡充

1人1台パソコンを活用し、教職員のICT活用指導力の向上や情報教育の充実を図るとともに、児童生徒が情報および情報手段を主体的に選択し、活用していくための能力を育みます。また、情報通信技術支援員を配置し、授業や研修を支援することで、ICTを活用した学力向上を研究します。



地域の方による読み聞かせ



1人1台パソコンを使って考えを交流

### ○外国語教育の充実 **継続**

小学校では、外国語指導助手(ALT)や、小学校外国語学習指導補助員(JTE)を活用し、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませます。3・4年生の外国語活動では音声を中心とした外国語を用いたコミュニケーションを図る素地となる資質・能力を養います。5・6年生の外国語科では「読むこと」「書くこと」を加えた言語活動を通じて、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を養います。中学校の外国語科(英語)では、小学校での学びや経験を生かし、外国語を用いて自らの考えや意見を述べるなど、コミュニケーションを図る資質・能力を育成します。



ALTとコミュニケーション

## 2-2 豊かな心の育成

### ○学校における人権教育の充実 **継続**

全ての教育活動を人権教育の視点で捉え、自分の大切さとともに他の人の大切さも認めることができる態度や資質を育成します。同和問題が人権問題の重要な柱であると捉えつつ、いじめ、インターネットによる人権侵害、性的マイノリティ、ヤングケアラーなど、今日的な人権課題も含めた人権教育を推進します。



地域の人権にかかわる史跡訪問

### ○帰国・外国人児童生徒園児支援事業の充実 **拡充**

NPO法人篠山国際理解センターと連携し、母語支援・日本語指導が必要な帰国・外国人児童生徒に対して、母語通訳・翻訳支援員および日本語指導員を派遣し、個々の実態に応じた支援を展開します。また、幼稚園の4・5歳児および、保育園・こども園の3・4・5歳児についても必要に応じて対象とし、小学校以降も含めた長期的な発達を見通した支援を行います。



自然学校 カヌー体験

### ○体験活動の充実 **継続**

子どもたちの自立に向け、小学3年生対象の「環境体験事業」や5年生対象の「自然学校」、中学1年生対象の「わくわくオーケストラ教室」、2年生対象の「トライやる・ウィーク」などの体験活動を通して試行錯誤の中で自己認識や自尊感情を高め、人間としての在り方や生き方を考えさせます。



あいさつ運動

### ○あいさつの実践 **継続**

日頃からあいさつが交わせる、明るく温かいまちづくり、学校づくりをめざし、学校・家庭・地域が連携した啓発・実践活動に継続して取り組みます。

## 2-3 健やかな体の育成

### ○体力・運動能力調査の実施 **継続**

児童生徒の体力・運動能力の実態と傾向の把握や分析を行い、体力・運動能力の向上に向けて児童生徒が主体的に取り組めるよう、計画的・継続的に実践する取り組みを推進し、生涯にわたりスポーツを楽しもうとする意欲の向上を図ります



運動会リレー

### ○部活動の新たな形に向けて **拡充**

部活動にかかる生徒、保護者との連絡調整や活動環境整備などの業務を行う「部活動推進員」、技術指導に加え試合や大会などを単独で引率できる「部活動指導員」、専門的な知識と技能を有し、スポーツ、音楽、美術などにおける活動の楽しさや段階的な指導を行う「部活動支援員」を配置し、部活動の充実と教職員の業務の負担軽減を図ります。また、休日の部活動の段階的な地域移行に向け、関係団体と連携し、地域の実情に応じた体制づくりを推進します。

## 2-4 社会的自立に向けたキャリア形成の支援

### ○キャリア教育の推進 **継続**

各教科や児童会・生徒会活動、学校行事などを通じた社会参画への意欲・態度等の育成や保護者や地域の人々、関係機関等と連携した多様な体験活動、中学2年生を対象に自らの生き方や将来について考える事業「夢プラン」の実施など、教育活動全体を通じ組織的・系統的な取り組みを推進し、社会的・職業的に自立し社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現するための力を育みます。

### ○小中連携心のサポート事業の実施 **継続**

児童生徒が小・中学校教育の変化に対応できるよう児童生徒の交流を推進します。また、いじめなどの問題行動や不登校、学習規律等について組織的な対応を強化します。

## 2-5 特別支援教育の充実

### ○校内外体制の整備および広域的・有機的なネットワークの形成 **継続**

共生社会の実現に向けたインクルーシブ教育システムの構築に向けて、各学校園における支援体制の整備を推進するとともに、市内の医療、保健、福祉、労働などの関係機関との連携体制を整備します。

### ○障がいのある子どもたちへの合理的配慮の提供 **継続**

障がいのある人が、障がいのない人と平等に人権を享受し行使できるよう、一人ひとりの特徴や場面に応じて発生する障がい・困難さを取り除くための個別の調整や変更を実施します。そのために必要となる教職員などを対象とした研修会の実施および基礎的環境整備を進めます。



篠山養護学校運動会でのバルーン演技

### ○医療的ケア児支援事業の充実 **新規**

篠山養護学校および市内学校園に在籍する医療的ケア対象幼児児童生徒が安全・安心に学校園での生活を送れるよう、看護師の配置や看護師への指導および助言を行う指導医の委嘱等の体制を構築し、子どもたちの可能性を最大限に発揮させ、将来の自立や社会参加のために必要な力を育みます。

### 施策の基本方向3

## 子どもの学びを支える環境づくりの推進

## 3-1 安全安心で質の高い学習環境の整備

### ○地域に信頼される安全で安心な学校園づくり **継続**

安全管理、安全教育および組織活動からなる学校園安全計画など、各種マニュアルに基づく訓練や研修、施設の安全点検を通して、事故の未然防止、救急対応に係る校内体制を充実させます。また、関係機関と情報の共有化を図り、家庭・地域と連携した安全で安心な教育環境づくりを推進します。



地域の安全マップ作成

### ○安全安心な通園・通学環境の整備 **拡充**

学校安全指導員の配置・活動、通学路点検、自転車保険への加入推進など、学校・家庭・地域・関係機関が連携しながら、安全で安心な通学環境づくりに努めます。また、バス通園の安全対策として、登園時に乗車名簿とその日の出欠状況を照合するなど、園長自ら定期的に園での取り組み状況を確認するとともに、スクールバスに置き去り防止を支援する安全装置を設置します。加えて、車内に取り残された場合の危険性を子どもたちに伝えるとともに、緊急時には外部に助けを求める行動がとれるよう子どもの発達に応じた指導を行います。



交通安全教室

### ○学校園水泳における市施設の活用 **新規**

小学校プール施設の老朽化に伴い、学習効果を高めるとともに安全な学習環境を確保するため、西紀運動公園の指定管理者(株)エヌ・エス・アイ)に学校水泳事業を委託し、インストラクターと教員によるチームティーチングを行うモデル事業を実施します。



西紀運動公園での水泳授業

### ○GIGAスクール構想における学びの充実 **継続**

児童生徒1人1台パソコンの環境におけるICTの効果的な活用を一層促進します。市内全ての小学校に算数、中学校に数学・理科の指導者用デジタル教科書を導入し、効果的に活用した授業づくりを進めます。また、遠隔教育システムを活用し、多様性のある学習環境や専門性の高い教師による授業、個に応じた指導など、児童生徒の学びの質の向上を図れるよう支援します。

## 3-2 地域とともにある学校づくり

### ○コミュニティ・スクールの推進 **拡充**

幼稚園、認定こども園にも学校運営協議会制度を順次導入し、学校園、保護者、地域住民などが熟議(熟慮と討議)と協働を通して課題を共有、目標・ビジョンを持って、子どもたちの豊かな成長を支える「地域とともにある学校園づくり」に取り組みます。



夏休み地域学習

## 3-4 教職員の資質能力の向上

### ○いじめの防止等への的確な対応 **継続**

いじめは「どの子どもにも、どの学校にも起こり得る」ことを踏まえ、学校、家庭、地域が一体となって、未然防止や早期発見、早期対応に取り組みます。また、人権教育や道徳教育、体験活動、特別活動などの充実を図り、子どもたちの望ましい人間関係を基盤に、豊かな心を育みます。



道徳教育校内研修

### ○不登校の支援と未然防止への対応 **継続**

「魅力あるよりよい学校づくり」を軸とした不登校の未然防止、居場所づくりの充実に努めます。スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、適応指導教室「ゆめハウス」や発達支援センター「わかば」などと連携し、精神的、社会的自立を支援する取り組みを推進します。

### ○教職員の勤務時間適正化および業務の効率化の推進 **継続**

教職員が心身ともに健康を保ちながら、児童生徒一人ひとりと向き合える働きやすい職場づくりを進めるため、統合型校務支援システムの導入など、教職員の業務の効率化と業務負担の軽減を図り、勤務時間の適正化を進めます。

## 3-5 保幼小中高大の連携

### ○保幼こ連携の推進 **拡充**

私立も含め、保育園・幼稚園・こども園の保育内容、指導方法などについて情報交換を行うなど、連携を図り、幼児期の教育を充実させます。

### ○幼小小連携の強化 **拡充**

幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続をめざし、地域や各園の実情に応じたアプローチカリキュラム(幼児期の学びを小学校の生活や学習で生かしながらに工夫された5歳児のカリキュラム)とスタートカリキュラム(小学校に入学した1年生が、園での遊びや生活を通じた学びと育ちを基礎として、主体的に自己を発揮し、新しい学校生活を創り出していくためのカリキュラム)を活用し、幼稚園・こども園と小学校の連携の充実を図ります。



幼小みんなでフラメンコダンス体験

### ○中高連携の推進 **継続**

市内の中学校や高等学校の関係者と連携しながら、継続的に生徒の学びを支えるとともに、市内高等学校の魅力づくりへの支援や中学生や保護者、市民への学校紹介などに取り組みます。

#### 施策の基本方向4

## 人生100年時代を豊かに生きる学びの推進

## 4-1 主体的に生きるための学びと場の充実

### ○「第2次丹波篠山市立図書館ビジョン」による図書館運営 **拡充**

「第2次丹波篠山市立図書館ビジョン」に基づき、あらゆる世代に応じた図書館事業をボランティアなどとの協働によって推進します。令和5年度は開館20周年を迎えることから記念イベントを開催します。また、全館LED照明の導入に取り組みます。



1日図書館員(中央図書館)

### ○障がい者社会学級の運営支援 **継続**

障がい者の社会参加の大切な機会として、「くすの木学級(聴覚・言語障がい)」「青い鳥学級(視覚障がい)」の事業運営を支援します。



「丹波くすのき学級」の開催(篠山城跡)

### ○外国人住民に対する学習支援 **継続**

NPO法人篠山国際理解センターへ委託し、外国人住民を対象に充実した学習支援を実施します。

### ○丹波篠山市史編さん事業 **継続**

令和10年度の全編刊行を目途に、専門委員会および神戸大学などと連携し、7つの専門部会にて本格的な調査研究に取り組みます。また、丹波篠山に関する古文書や古写真、地域新聞などの歴史資料の収集・調査・保存整理を継続し、市史編さんとともに地域資料として保存・活用を図ります。



令和4年10月に就任した市スポーツ振興官

## 4-2 スポーツの推進

### ○丹波篠山市スポーツ振興官によるスポーツ振興 **新規**

スポーツ振興官の実績、経験を踏まえ野球・ソフトボールを中心とした各競技種目のスポーツ指導者を育成、市内の子どもたちだけでなく大人も元気になる地域活性化の取り組みを推進します。

### ○丹波篠山ABCマラソンの開催 **継続**

第43回大会は新型コロナウイルスの影響により規模を縮小し開催しましたが、第44回大会は、コロナ前の1万人大会の開催をめざし、「丹波篠山のおもてなし」を復活させ、全国から多くのランナーを迎え「日本農業遺産のまち丹波篠山」を走っていただけるよう取り組みます。



第43回丹波篠山ABCマラソン

## 4-3 文化財と町並みの保存と活用

### ○国史跡の環境整備 **拡充**

史跡篠山城跡二の丸北西石垣の保存修理を行うとともに、石垣付近の草木の伐採や草刈りなどを行います。また、史跡八上城跡の活用のために、登山道の維持管理および整備を行うとともに、地域と連携しながら保存活用計画の策定を進めます。



八上城跡登山道の点検